

令和6年度 館蔵資料展



土器や建物遺構でみる
まつどのたてあな



古写真・絵画パネルでみる
せかいのたてあな

たてあなあな

こんなたてあな
みたことない！

竖穴建物の世界

2024 4 | 27 SAT [土] - 6 | 2 SUN [日]

〔開館時間〕午前9時30分～午後5時 *入館は午後4時30分まで

〔休館日〕毎週月曜日(ただし4/29・5/6は開館し、翌日休館)、5月24日(金)

〔後援〕(公財)松戸市文化振興財団、(一社)松戸市観光協会、

北総線沿線地域活性化協議会、千葉県テレビ

〔協力〕新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

観覧
無料



松戸市立博物館
MATSUDO MUSEUM

作ってみよう! ペーパークラフト



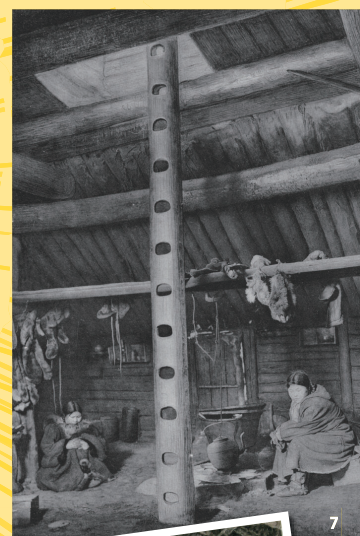
堅穴建物の世界

土器や建物遺構でみる
まつどのたてあな



堅穴建物(堅穴住居)は、地面を掘り下げて床とした建物です。世界各地で使用されましたが、日本では主に1万年前(縄文時代)から1千年前(平安時代)の非常に長い間使われ、日本家屋の源流の一つになりました。松戸市内でも1千を超える堅穴建物が発掘調査によってみつっています。今回の展示では、市内の堅穴建物から出土した資料や、世界各地で記録された堅穴建物の写真パネルなどを用いて、松戸と世界の堅穴建物の世界を紹介します。また、紙や模型を工作し、お子様でも楽しく堅穴建物の構造が学べるコーナーも用意しました。出土資料やパネル、工作を通じて、古代堅穴建物の世界をお楽しみください。

古写真・絵画パネルでみる
せかいのたてあな



作ってみよう! **ペーパークラフト**

初級編は
参加無料、予約不要



組み立ててみよう! **堅穴模型**

屋根を外すと
中もしっかり
再現!



1. 焼失した堅穴建物(行人台遺跡)
2. 堅穴建物内の土器出土状況(仲通遺跡)
3. 堅穴建物内のカマド出土状況(大谷口遺跡)
4. 松戸市最古(約11000年前)の堅穴建物(ハケ崎遺跡)
5. カナダ 先住民の堅穴建物(1900年頃)
6. 千島列島 色丹島の堅穴建物(1899年)
7. カムチャツカ半島 コリヤーク族の堅穴建物内部(1901年)
8. アリュシャン列島 ウラナスカ島の堅穴建物内部(1784年)



【関連イベント】学芸員講演会「民族誌からみた堅穴建物」 博物館友の会共催
5月19日(日)午後1時～3時 講師:藤原哲(当館学芸員) 会場:講堂 定員:75名 【申込方法】Webまたはハガキにて事前申込。(応募者多数の場合は抽選) *詳しくは当館ウェブサイトでご確認ください。内容は変更になる場合がございますので、ご了承ください。

【アクセス】●新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または松戸新京成バス小金原団地循環が新松戸駅行「森のホール21・公園中央口」下車すぐ。●JR常磐線・武蔵野線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「森のホール21・公園中央口」下車。地下道通ってすぐ。●来館者専用の駐車場はございませんので、21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用ください。
*障害者専用駐車場をご用意しております。詳しくはお問い合わせください。

松戸市立博物館

〒270-2252
千葉県松戸市千駄堀671
Tel. 047-384-8181
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/m.muse/>

